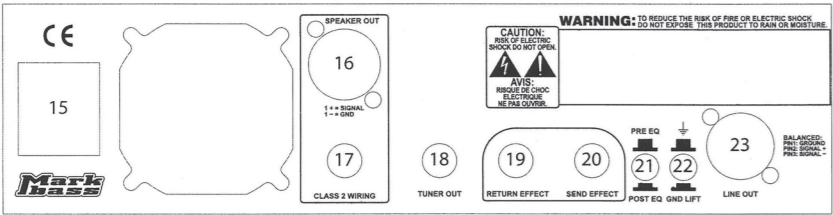




### 3. リアパネル



- 15 ACパワー・ソケット
- 16 スピーカーアウト (スピコン/ 1/4" フォーン・コンボ・ジャック)
- 17 スピーカーアウト (1/4" フォーン・ジャック)
- 18 チューナー・アウト (1/4" フォーン・ジャック)
- 19 エフェクト・リターン (1/4" フォーン・ジャック)
- 20 エフェクト・センド (1/4" フォーン・ジャック)
- 21 プリ/ポスト・イコライザー・コントロール・スイッチ (ラインアウト(XLR)用)
- 22 グランド・リフト・コントロール・スイッチ (ラインアウト(XLR)用)
- 23 バランスド・ラインアウト (XLR)

#### SPEAKER OUT

2のスピーカーキャビネットを接続することができます。高品質なノイトリック・スピコン・コンボジャック(16)には、スピコンケーブルまたは1/4" スピーカーケーブル、どちらも使用することができます。セカンドスピーカージャック(17)には、1/4" ケーブルしか使えません。スピーカーケーブルを使用し、楽器用のケーブルは使わないでください。コンボヘッドの場合、もともとスピーカーに接続されていますが、外部のキャビネットに接続することもできます。本体のスピーカージャックからケーブルを取り外し、外部のスピーカーキャビネットに接続します。または2つのジャックを利用して、本体のキャビネットと外部のキャビネットを同時に使うこともできます。

#### TUNER OUT

チューナー・アウト(18)はチューナーにアンバランスド信号を送ります。ペダルを経由して音質を低下させてしまう、といったことはありません。このアウトプットは他のアンプや、バランス入力でなくてもよいレコーディング機器に使うこともできます。

#### EFFECT SEND AND RETURN

リアパネルのエフェクト・センド(20)とエフェクト・リターン(19)を利用して、エフェクトペダルやラック製品を使うことができます。この接続をしていれば演奏中に外部エフェクターのバッテリーが切れても、音がとぎれません。

#### LINE OUT

このバランスドXLRラインアウト(23)は、ライブやスタジオにおいて、バランス信号をミキシング・コンソールなどに送り出すことができます。このラインアウトのシグナルは、プリ/ポスト・イコライザー・コントロール・スイッチ(21)によって、プリEQ(EQやフィルターのセッティングが効いていない)または、ポストEQ(EQやフィルターのセッティ

ングが効いている)を選択することができます。

#### GROUND LIFT

ライブなどでの演奏中、ラインアウト(23)使用などの際、アンプの信号にハムノイズが発生する場合があります。これは電源と関連したグラウンドの状態に起因するものです。このグラウンド・リフト・スイッチ(22)を切り替えることにより、ハムノイズを除去することができます。

### 4. 技術的仕様

#### INPUTS

- インプット (1/4" ジャック)
  - インピーダンス 500K $\Omega$ 、最大ボルテージ 15Vpp
- バランスド
  - インピーダンス 100K $\Omega$ 、最大ボルテージ 25Vpp
- エフェクト・リターン
  - インピーダンス 33K $\Omega$ 、最大ボルテージ 10Vpp

#### CONTROLS

- ゲイン -60 dB ~ +23dB レンジ
- ラインアウト レベル・コントロール (フロントパネル)
- プリ/ポスト EQ (ラインアウト用) スイッチ (リアパネル)
- グラウンド・リフト スイッチ (リアパネル)
- マスター・ボリューム

#### EQUALIZATION

- ロー 中心周波数 40Hz、レベル  $\pm 16$ dB
- ミッド・ロー 中心周波数 360Hz、レベル  $\pm 16$ dB
- ミッド・ハイ 中心周波数 800Hz、レベル  $\pm 16$ dB
- ハイ 中心周波数 10KHz、レベル  $\pm 16$ dB
- VLE (ヴィンテージ・ラウドスピーカー・エミュレーター) 最大カット・レンジ 250Hz~20KHz
- VPF(バリアブル・プリシェーブ・フィルター) 中心周波数 380Hz (カット)

#### OUTPUTS

- エフェクト・センド アンバランス、最大ボルテージ 20Vpp
- チューナー・アウト アンバランス、最大ボルテージ 2Vpp
- ライン・アウト バランス XLR、最大ボルテージ 20Vpp
- スピーカー・アウト スピコン、1/4" ジャック



電源 100V 50/60Hz (日本仕様)

#### FUSE

注意：工場出荷時に使用される国のボルテージに設定されています。改造によるボルテージの変更はおやめください。

#### Little Mark 250 :

- 日本 6.3A 250V T 5x20
- ヨーロッパ、オーストラリア 3.15A 250V T 5x20
- アメリカ、カナダ 6.3A 250V T 5x20

### 5. Specifications :

#### CMD JB PLAYERS SCHOOL

Power : 250W (4  $\Omega$ ) / 150W (8  $\Omega$ )  
Preamp : Solid State / Power Amp : Analog  
Gain & Master Controls, EQ : 4-band / VPF & VLE,  
Pre / Post EQ (DI) , Line Out & Level Control ,GND LIFT  
Tuner Out, Effect Loop, Speaker Out (Speakon + 1/4" Combo Jack)  
Speaker : 1  $\times$  15" , Speaker Power Handling : 300W RMS (8  $\Omega$ ), Frequency Response : 40Hz ~ 5kHz  
475(W)  $\times$  464(H)  $\times$  480(D)mm, 16.2kg

#### Little Mark 250 Black Line

Power : 250W (4  $\Omega$ ) / 150W (8  $\Omega$ )  
Preamp : Solid State / Power Amp : Analog  
Gain & Master Controls, EQ : 4-band / VPF & VLE,  
Pre / Post EQ (DI) , Line Out & Level Control ,  
GND LIFT,Tuner Out, Effect Loop,  
Speaker Out (Speakon + 1/4" Combo Jack)  
27.6  $\times$  7.1  $\times$  25.5cm, 2.6kg  
276(W)  $\times$  83(H)  $\times$  250(D)mm, 2.3kg



## 取扱説明書



Markbass / DV Mark 日本総代理店：パール楽器製造(株)  
〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1  
TEL：047(484) 9111(代) 営業部 TEL：047(450)1113  
改良のため予告なく仕様の一部を変更することがありますので、予めご了承下さい。  
2017年9月作成



●製品に関するお問合せ  
パール楽器製造(株)テクニカルサポート  
TEL 047-450-1090






## 安全上の御注意！

この度は Markbass ベースアンプ をお買いあげいただき有難うございました。

- ・使用開始前に、安全のため下記の説明を良くお読み下さい。
- ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。
- ・本書では危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

- ・本書で使用する絵表示は、次のような意味です。

	警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

- ・製品に記されているすべての注意書きに従って下さい。
- ・長期間使用しないときは必ず電源を抜いて下さい。
- ・延長コードをご使用になる場合は必ず容量に見合ったものをご使用下さい。
- ・電源コードは手荒に扱わないで下さい。定期的  
に断線していないか、あるいはその兆候がない  
かチェックして下さい。特に両端のモールドの  
部分に捻れがないか注意して下さい。
- ・電源コードの上には何も置かないで下さい。通  
路にはコードがかからないように設置して下さい。

- ・キャビネット内の空間、裏面や底面の穴は通気  
のために設けてあります。穴をふさいだり覆っ  
たりしないでください。十分な空間がないとオー  
バーヒートの原因になります。本製品をビル  
トインで設置する場合は、適切な冷却装置を必  
ずご使用下さい。
- ・長時間大音量で演奏すると、耳に負担がかかり、  
難聴になる危険があります。やむをえず必要な  
場合には、耳栓を使用するなどして、自衛手段  
を講じて下さい。

- ・この製品は水気のあるところでご使用になら  
ないで下さい。
- ・この製品を不安定な台車、スタンド、またはテ  
ーブルなどの上に置かないで下さい。製品が落  
下して故障の原因となる場合があります。
- ・付属の電源コード以外でご使用にならないで  
ください。また、製品の裏面に表示してある電圧以  
外での使用は避けて下さい。

- ・アンプの上にドリンクなどおかないで下さい。  
こぼれて故障や感電の原因になります。
- ・絶対にご自分でカバーを開けて修理、改造等し  
ないで下さい。製品の内部には高電圧の部分  
があり大変危険です。必ずお買上になった販売店  
までお問い合わせください。
- ・下記の場合ただちに電源を抜き必ず修理又は点  
検に出して下さい。
  - \* 電源コードまたはプラグが破損した場合。
  - \* 製品の上に液体がかかった場合。
  - \* 製品に水や雨がかかった場合。
  - \* 説明書通り操作しているにもかかわらず正常  
に作動しない場合。
  - \* 製品が落下した場合やキャビネットが破損し  
た場合。
  - \* 音質等性能が著しく変化した場合。

- ・ヒューズを交換する際は、必ず同じ規格の物を  
使用して下さい。異なった規格の物を使用すると、  
発火や、故障の原因になります。
- ・ストーブ等の火気の近くには設置しないで下さい。

発火や感電を防ぐため、湿度の高いところや雨の  
あたるところではご使用にならないで下さい。キャ  
ビネットの隙間などから異物を入れたりしない  
で下さい。  
内部には専門家以外の方で修理できる箇所はござ  
いせんので、異常が発生した場合はお買上にな  
った販売店にご連絡ください。



## 1. はじめに

### CMD JB PLAYERS SCHOOL

Markbass アーティストのジェフ・バーリンは、1996 年に自らフロリダに設立した、ザ・プレイヤーズ・スクール・オブ・ミュー  
ジックの校長でもあります。

ザ・プレイヤーズ・スクール・オブ・ミュージックは、音楽のみを教え、メトロノームを使うなどの効果のない練習を避けるよ  
うにプレイヤーたちを指導するなど、斬新な教育方針を打ち出しました。この学校では、芸術を学問から分離することで、プレ  
イヤーズ・スクールのほとんど全ての学生がプレイヤーとして進歩するための学習環境を整えています。

ジェフのこの素晴らしいミュージック・スクールに因んで名付けられた CMD JB PLAYERS SCHOOL コンボは、ザ・プレ  
イヤーズ・スクール・オブ・ミュージックの学生ばかりでなく、世界中の学生にうってつけのアンプです！

軽量コンパクトで持ち運びに便利というだけでなく、プロ仕様の良質なサウンドを持つコンボ・アンプで練習したり演奏した  
りすることが、学生にとってどんなに大切な、私たち Markbass のスタッフはよく心得ています。このコンボは、そういった要  
求の全てを満たす、賢い選択肢となるものです。このコンボは低価格でありながら、当社のあらゆる製品と同じ品質基準が適  
用され、製造過程において当社の技術者たちがあらゆる製品に行っているのと同じ品質検査を受けています。

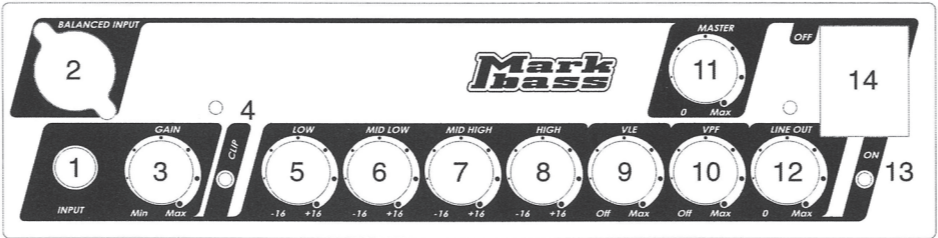
「CMD JB PLAYERS SCHOOL コンボは、マークベース製品ならではの素晴らしいトーンと、手頃な価格の高品質なキャ  
ビネットを組み合わせたアンプです。私は良いトーンを持ったアンプにしか興味はありませんが、このアンプにはそれがありま  
す！ これは私にとっても、練習とギグの両方に使えるアンプです」とはジェフの弁。

CMD JB PLAYERS SCHOOL コンボは、楽に持ち運べるサイズで、重さも 15.7kg しかありません。サウンドはプロ製品  
並みで、全ての Markbass 製品と同様、アンプをフラットにセットして、楽器をつなぎ、ヴォリュームを上げるだけで、求める  
サウンドが得られます。イコライザーは、通常とは異なる会場の音響を補正するためにだけ使えば良いのです。学生、プロを問  
わず、誰もがプロ仕様の素晴らしいサウンドで演奏する権利を持っています。そのためにも、このコンボを選ぶべきです！

### Little Mark 250 Black Line

Black Line シリーズの製品は、当社のあらゆる製品と同様の最新技術を取り入れ、高品質なパーツを使用し、品質検査を受  
けています。Little Mark 250 Black Line は、フルパワーで 500 ワットもの出力を必要としないプレイヤーのための、賢明  
かつ手頃な価格の選択肢で、練習やリハーサル、小規模のギグに最適です。

## 2. フロントパネル



- 1 アンバランス 1/4" 入力ジャック
- 2 バランス XLR入力
- 3 ゲイン・コントロール・ノブ
- 4 クリップ LED
- 5 ロー・イコライザー・コントロール・ノブ
- 6 ミッド・ロー・イコライザー・コントロール・ノブ
- 7 ミッド・ハイ・イコライザー・コントロール・ノブ
- 8 ハイ・イコライザー・コントロール・ノブ
- 9 VLE (ヴェンテージ・ラウドスピーカー・エミュレーター)  
フィルター・レベル・コントロール・ノブ
- 10 VPF (バリアブル・プリシェーブ・フィルター) レベル・  
コントロール・ノブ
- 11 マスター・ボリューム・レベル・ノブ
- 12 ライン・アウト・レベル・ノブ
- 13 パワーオン LED
- 14 メイン・オン/オフ・スイッチ

### INPUT

1/4" インプットジャック(1)は、パッシブとアクティブ  
のベース両方に使うことができます。バランスドインプット  
(2)は、バランスドXLRインプット用でアコースティック  
ベース・ピックアップにも対応します。このインプットでは、  
ベース演奏と同時にマイクを接続して使うことができます。

### GAINとMASTER

フロントパネルには、ボリュームをコントロールする2つ  
のノブがついています。GAIN (3) はアンプユニットのイ  
コライザーやエフェクトループといった機能を含むプリアン  
プ部に、どれくらいのシグナルを入力させるかをコントロー  
ルするものです。MASTAR(11)ボリュームはパワーアンプ  
部からスピーカーキャビネットへの出力を調整するものです。  
もしプレイ中に青いCLIPランプ(4)が点灯したら、歪みを  
なくすためにゲインを下げてください。



アンプに楽器を接続する前には、必ずゲイン(3)とボリ्यू  
ム(11)を絞った状態にしておいてください。そして、楽  
器側のボリュームをフルにし、強く激しく音を出しながら、  
GAINコントロールを青いランプが点灯しはじめるくらいに  
上げてください。次に、演奏してもライトが点灯しない程度  
にGAINをやりや絞ってください。この手順により、いま演奏  
しているベースにとって最適なゲインに設定することができ  
ます。なお、ピックアップやアクティブ/パッシブタイプ、  
またプリアンプやEQのセッティングなどにより、ベースが  
異なるとアウトプットレベルもそれぞれ異なります。  
いったんGAINレベルをセットしたら、あとはMASTER  
ノブでボリュームを調節してください。

### EQUALIZATION

マークベースアンプはお持ちのベースのナチュラル・サウ  
ンドを忠実に再生できるよう設計されています。もしあなた  
が良い楽器をお持ちならば、イコライゼーションは最低限に  
とどめておくのがよいでしょう。ベースギターは聞こえない  
ほどの超低域から、ツィーターで鳴らすような、またはほと  
んど聞こえないような超高域にわたる、極めて幅広い周波数  
域を再生する楽器なのです。EQのセッティングをいくつか  
試してみるとわかりますが、異なる周波数域それぞれが、  
ベースのトーンを作り出す上において欠くことのできない重  
要な役割をになっているのです。

LOWコントロールが扱う周波数域は、サウンドにパワー  
感をもたらす音の土台ともいべき要素で、リスナー、そし  
てあなたの体をゆさぶり、時には人々が体を動かし・踊りだ  
させてしまうような性質を持つものです。  
MID LOW (Mid Frequency Low) はベースサウンドの  
音圧感を高めるコントロールで、空間をみたすような遠達性  
のある音を作りだします。  
MID HIGH (Mid Frequency High) は、演奏のピッチ  
感や音程感を調整するのに適したコントロールです。ベース  
のメロディ・ラインを明瞭に聞かせることができる、透明感  
豊かな周波数域ということができます。別言すれば、この周  
波数域が明瞭でないと、あなたが作り出すメロディックなベ  
ースサウンドが音楽のなかに埋没してしまう、ということが  
できます。  
HIGHの周波数域はアタックや音程感といったパーカッシ  
ブな特性を持つもので、これには指/ピックでの弾弦やフレ  
ットノイズ、スラップや演奏時のピリつきなどが含まれてい  
ます。

アンプのイコライザー・コントロールのうちのどれか1つ

が操作されているというだけで、あなたのベースが生み出す  
本来のサウンドは正確に反映されなくなってしまう、という  
言い方もできます。リトルマークIIは全ての周波数域にわた  
ってクリアで明瞭なサウンドを生み出すことができるよう設  
計されていますので、イコライザーのノブが12時のフラッ  
トな位置にしておけば、あなたのベース本来のサウンドを再  
生することができるのです。

ただ、下記のような状況では、イコライゼーションを行う  
必要があります。

1. お持ちのベースのサウンドそのものが、特定の周波数域  
が弱いという特徴を持っている場合。
2. 響きが悪く、特定の周波数が強調されてしまう部屋や会  
場での演奏。例えばステージなどで、低域が極端に鳴っ  
てしまう場合や、ある音域だけが目立って大きく鳴って  
しまう場合などがこれにあたります。この場合、問題の  
ある周波数域を絞るなどして調整する必要があります。
3. 一種のエフェクトとして音色を変化させようとする場合。

イコライゼーションは繊細に行わなくてはなりません。  
セッティングの変更を始めるときは、まずEQコントロール  
をすべてニュートラル(12時)の位置にし、アンプから出  
力されるベースの音を聞きながら、じっくりと時間をかけて  
行ってください。いずれにせよ、あまりコントロールに大き  
な変更を加えない方が理想的です。

### VLE、VPFフィルター

イコライゼーションによってあなたのベースサウンドに  
特別な効果をもたらす、マジックとも呼ぶべき2つのコン  
トロールノブを装備しています。ベアシストにとっての実  
戦的な要求に応えるべく、特別に設計されたものですので、  
通常のEQよりもひんぱんに使われるノブといえます。

VLEフィルター(9)(ヴェンテージ・ラウドスピーカー・  
エミュレーター)は、高域をカットし、メロウなサウンドを  
作り出します。時計まわりにノブを回すと、カットされる高  
域の周波数が広範囲になります。このEQは、アコースティ  
ック、またはオールディーズ風の音楽に有効です。

VPFフィルター(10)(バリアブル・プリシェーブ・フィル  
ター)は、低域と高域をブーストし、中域(380Hz周辺)を  
カットします。ロックには最適なパワー感が得られるフィル  
ターであり、またスラップベース・プレイヤーの好みにも合  
うフィルターといえます。

この2つのフィルターは最初、オフの状態にしておき、徐々  
にお好みの効き具合に調整してゆくと良いでしょう。また、  
調整は当初、一方ずつ行い、追って2つのフィルターを組み  
合わせると、素晴らしい効果が得られることでしょう。